※本セミナーはZoomを使ったWEBセミナーです。会場での参加はできません。 NO. 251189

エレクトロニクス高品質
スクリーン印刷の基本とプロセス適正化手法

ホームページURL：https://www.rdsc.co.jp/seminar/251189

◆日　時：2025年11月6日（木） 10:30～16:30
【アーカイブ配信：11/10～11/21】
◆受講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円
・2名同時にお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で55,000円）
・LIVE、アーカイブ両方視聴される場合は1名につき55,000円、2名で66,000円です。

セミナーお申込みFAX
０３－５８５７－４８１２
※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※詳細はホームページでご確認下さい。

（株）エスピーソリューション　代表取締役　佐野 康　氏

＜ご略歴＞
輸入商社において、14年間、導電性接着剤、ポリイミドペーストの営業職を経た後、1990年より製版メーカー（東京プロセスサービス）での技術営業職、1994年より印刷機メーカー（マイクロ・テック）にてスクリーン印刷のプロセス技術支援業務に従事。
2000年10月（株）エスピーソリューションを設立し、技術コンサルティング業務を開始、以来25年間、プラズマディスプレイパネル（PDP）,セラミック電子部品、プリント基板,プリンテッドエレクトロニクス、グラフィック・加飾印刷等の分野における印刷加工メーカーやペーストメーカーなど約70社以上に対し技術支援を行ってきた。

【講座の趣旨】※詳細はホームページでご確認下さい。

スクリーン印刷は、エレクトロニクスやグラフィック・加飾印刷などの多くの分野で60年以上利用されてきたにも関わらず、未だに管理が困難で職人技が必要な印刷技法だと思われる事が多いようです。しかしながら、スクリーン印刷はその原理、メカニズムから考えて、最も安定で、且つ、プロセス管理が比較的容易な印刷工法であると考えています。＜中略＞
高品質なスクリーン印刷を実践するための適切な理論と、その考えに基づいた「標準」があります。印刷されるインキ、ペーストの身になってプロセスを考える「ペーストプロセス理論」です。この理論と「標準」は、私が長年仮説と検証を繰り返し実用性があるとして確立し、多くのコンサルティングの現場で実証を行なってきたものです。これらはエレクトロニクス分野のみならず、高品質スクリーン印刷実践のためであれば、すべてに通用します。＜中略＞
本講演では最初に、スクリーン印刷の原理やメカニズムの説明、そして「版離れ角度」の維持により「版離れ力」を1.5倍に向上できる新機構について解説します。次に、スキージやスクリーンメッシュなどの要素技術とそれらの適正化の為の「標準」について解説し、インキ・ペーストの印刷性能に影響する分散安定性、揮発性、濡れ性及び粘弾性特性を分りやすく説明します。さらに加飾印刷における「トーンジャンプ」のないグラデーション印刷と最近見いだした新技術であるベタパターンでの「サドル」を無くす印刷手法についても紹介します。最後に、最新のトピックスとして、印刷したインキ塗膜をウエットの状態で5倍以上に増膜し、別基材に移載することが出来る「リバース型インキ転写装置を利用した超厚盛印刷技術」について紹介させていただきます。

【プログラム】※詳細はホームページでご確認下さい。

1. スクリーン印刷とは？
   1-1. 各種印刷工法の種類とインキの粘度範囲
   1-2. スクリーン印刷は「特殊印刷」、だから印刷安定性が高い
   1-3. 現状のスクリーン印刷の多くは「技術限界」の50%以下のレベル？
2. スクリーン印刷8つの適用工法
3. 「ペーストプロセス理論」の考え方の基本
4. 「コンタクト印刷」とは通常スクリーン印刷とは全く異なる印刷工法
5. スクリーン印刷の4つのカニズムの理解
   5-1.「ローリング」のメカニズム　5-2.「充てん・掻き取り」のメカニズム
   5-3.「版離れ」のメカニズム　5-4.「レベリング」のメカニズム
6. ≪新技術≫「版離れ角度」維持による等クリアランス版離れ改善機構
7. スクリーン印刷装置とスキージの重要性
8. 4つの印刷条件の適正化と「標準」
9. スクリーンメッシュとスクリーン版
10. インキ・ペーストの印刷性能
11. ≪新技術≫「トーンジャンプ」のないグラデーション印刷
12. ≪新技術≫ベタ印刷での「サドル」の解消方法
13. 高品質スクリーン印刷プロセス実践のための具体的な対策手法
    13-1. 印刷均一性を阻害する要因とその対策
    13-2. 印刷寸法精度を損なう要因とその対策
    13-3. スクリーン印刷におけるその他の不具合対策
14. 高品質スクリーン印刷の応用例
    ≪新技術≫スクリーン印刷とリバース転写併用によるインキ厚盛技術
    ・マイクロ文字印刷　フレキシブル基板多層印刷　銀ナノインキ印刷など

【WEBセミナーとは？】
・本講座は「Zoom」を使ったWEBセミナーです。視聴方法は「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。
Zoom 接続テストの手順（http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf）をご覧の上、視聴可能かどうかご確認下さい。
・タブレットやスマートフォンでも受講可能ですが、機能が制限される場合があります。
・お申込み後は、弊社よりお申し込み内容確認メールをお送りします。
・LIVE配信を受講される方には、事前に資料をPDFでお送りします。Zoom視聴URLはメールでお送りします。開始時間の10分前にご参加下さい。
・アーカイブ配信を受講される方は、配信開始日までにセミナー資料と動画視聴URLをメールでお送りします。期間内は何度でも視聴可能です。

『スクリーン印刷【WEBセミナー】』セミナー申込書　＜■LIVE配信　■アーカイブ配信＞

会社・大学			
住　所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料）　※案内方法を選択してください。複数選択可。	□Eメール　□ 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●
必要事項をご明記の上（LIVEかアーカイブもご選択下さい）FAXして下さい。HPからもお申し込みできます。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。
セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日（土日祝日を除く）で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/entry
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy

R&D SUPPORT CENTER
株式会社Ｒ＆Ｄ支援センター
〒135-0016　東京都江東区東陽3-23-24　VORT東陽町ビル 7F
TEL）03-5857-4811　FAX）03-5857-4812　URL）http://www.rdsc.co.jp/